

聖徳大学言語文化研究所では、「英米文学の名作を読む」をテーマに研究を続けており、その研究成果を、毎年シンポジウム等を通じて発表してまいりました。

今回は、トマス・ハーディ研究において多数の業績を残されてきた、藤井繁聖徳大学名誉教授が、以下の内容で研究成果を発表します。

- 1.近代小説の「タブーへの迂回路」とは？
- 2.意識の優越性を適用したことか？
- 3.「時間」との関わりで表現したことか？
- 4.「現実」と「知覚世界」とは同じか？
- 5.独自の多様な描写の卓越さか？
- 6.「恋の魂」の読解が難しいのはなぜか？

ハーディ小説の現代性

文学作品を読み解くとは

聖徳大学言語文化研究所主催講演会

参加費
無料

平成29年
2月25日(土)
13:00~15:00(予定)

聖徳大学生涯学習社会貢献センター
(聖徳大学10号館)12階

千葉県松戸市松戸1169
JR常磐線・新京成線
「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員:70名(事前申込不要)

講師

藤井 繁
(聖徳大学名誉教授)

日本大学教授、日本英文学会評議員、日本大学英文学会会長等を経て、聖徳大学教授、聖徳大学人文学部長、大学院言語文化研究科長等を歴任。日本ハーディ協会運営委員。文学博士。

著書に、『曙光-ハーディ小説の主題と形式』(日本図書刊行会)、『流紋-ハーディ文学の現代性』(日本図書刊行会)、『群青-トマス・ハーディ「世紀末への挽歌」』(コプレス)等多数。

お問い合わせ

聖徳大学言語文化研究所(知財戦略課)

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話:047-365-1111 (大代表)

URL:<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/event/>

